

淡水藻類研究者にお願い
群馬に淡水藻類グループ生る

海をもたぬ山国のこととて、藻類を少々つつこうと思えば、いきおい淡水産のものにかざられる。幸い、尾瀬ヶ原・大峯・赤城等の湿原、湖沼池、河川等山地平坦地を問わず豊富であるため材料にはことかかない。

日頃、教室で知識の切り売りをしているだけでは、あまりにも能がなすぎると考えている同志が集った。

正式には群馬生物教育研究会内の一つのグループとして1964年6月に発足した。メンバーは13名、主として高校の先生で、それに中学の先生が加わっている。

早速、群馬県の南東、館林市茂林寺沼の調査、榛名山麓でのカワノリ採集会等をおこなった。その成果は近く発表の予定である。ただ残念なことには予算的裏づけがないので、淡水藻類関係の研究者を、おまねきして、御指導をあおぐことも出来ない状態である。そこで、虫のよい話であるが、若し、淡水藻類の諸先生が群馬県に足を踏み入れられる機会があったら、ガイドをつとめるかわら御指導をお願いしたいと一同考えている次第、又、種の同定等をお願いしたく思っています。尚、他県の小・中・高の先生方で入会の御希望あれば歓迎致します。採集会の御案内、材料の交換、その他、研究に関する連絡機関といたく存じます。

御指導、御声援の程お願い致します。

連絡場所：群馬県佐波郡境町県立境高等学校生物室 伊藤市郎(チリモ)宛

第5回国際海藻シンポジウム開催のお知らせ(追記)

本年8月25日から28日迄カナダ ハリファックスに於いて行なわれる第5回海藻国際シンポジウムに関しては本誌12巻1号に記したが其後第2回の通知があり、更に次の様なことが明らかとなったのでお知らせします。

1. 会場 カナダ ノバスコチヤ ハリファックス市の Dalhousie University
2. 参加申込は 6月15日迄
3. 報告論文、抄録は4月15日迄に提出のこと。
4. 特別講演が次の4氏によって行なわれる。
 - a) 荒木長次氏 (京都工芸繊維大学)
 - b) F. N. Woodward (Arthur D. Little Research Inst., Edinburgh)
 - c) E. Baardseth (ノルエー トロンドハイム 海藻研究所)
 - d) J. Feldmann (パリー大学)
5. 見学旅行 8月21日—25日 Prince Edward Isl., 8月26日ハリファックス近郊見学, 8月28—31日 南部ノバスコチヤ地方 (Bay of Fundy 地方へ)